

介護福祉士
国家資格取得に向けた

留学生のための 学習ハンドブック



令和5年3月

かい よう きょう
介養協

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

はじめに.....	4
学習ハンドブックの使い方.....	5
★留学生のみなさんへ ～介護福祉士の先輩からのメッセージ～	6
I. 日本で介護を学ぶにあたって	8
1. 日本の介護とは	8
(1) 自立支援 <small>しえん</small> の考え方	8
(2) 介護過程 <small>かてい</small> の考え方	8
(3) チームケアの考え方	9
(4) 介護福祉士の職業倫理 <small>しよくぎょうりんり</small>	9
2. 介護の学校で学ぶということ	10
(1) 介護の学校で学ぶ意義 <small>いぎ</small>	10
(2) 介護の学校で学ぶ姿勢 <small>しせい</small>	10
★先輩 <small>せんばい</small> の声：先生 <small>ほか</small> や他の学生とのコミュニケーション	11
(3) 学業 <small>がくぎょう</small> と生活.....	12
★先輩 <small>せんばい</small> の声：わたしの勉強スケジュール.....	12
II. 介護の学校の授業での学び方	13
1. 入学から卒業<small>そつぎょう</small>までのカリキュラムを理解<small>りかい</small>する	13
(1) カリキュラムについて	13
(2) 実習について.....	14
★先輩 <small>せんばい</small> の声：実習やアルバイトすると、介護の理解 <small>りかい</small> が深 <small>ふか</small> くなる.....	14
2. 授業<small>う</small>を受けるとき.....	15
(1) 授業 <small>う</small> を受けるときのポイント.....	15
(2) 課題 <small>かだい</small> （宿題）について	15
3. 領域<small>りょういき</small>ごとの学び.....	16
(1) 領域 <small>りょういき</small> 「人間と社会」	16

(2) 領域「介護」	18
(3) 領域「こころとからだのしくみ」	20
(4) 領域「医療的ケア」	22
Ⅲ. 授業以外での学習方法について	23
1. テキストを活用した学習	23
★先輩の声：教科書をたくさん読む	23
2. 参考書などを使った学習	24
★先輩の声：参考書などを活用した勉強方法	24
3. 国試対策	25
★先輩方の合格体験記-合格までの流れ-	26
Ⅳ. 日本語で介護を学ぶということ -国試に向けた日本語の理解-	28
1. 介護福祉士国家試験に必要な日本語力	28
(1) 介護福祉士国家試験は、日本語の試験ではない	28
(2) 国家試験の勉強に必要な日本語力は「漢字力」「語彙力」「読解力」	28
(3) 国家試験に必要な「読解力」をつける	28
(4) 音読をしよう	29
2. 国家試験の日本語の考え方	29
(1) 漢字の意味から言葉の意味を考える	29
(2) 意味がわかりにくい言葉	30
(3) 国家試験によく出る言葉	30
(4) 「する」と考えればわかりやすい言葉	31
(5) 長い漢字の言葉	31
(6) 文を理解する	32
Ⅴ.最後に	34
参考：介護の勉強についての情報（2023年1月現在）	35

はじめに

「なぜ、介護の仕事をするために、学校で勉強する必要があるのでしょうか」

世界を見てみると、介護の学校がある国は、そんなに多くはありません。しかし、世界のどの国よりも速いスピードで高齢化が進んでいた日本は、今から35年前、介護福祉士という国家資格を誕生させました。国家資格ということは、高齢が原因の病気や障がい、または、年齢に関係のない心身の障がいや原因で生活上こまっていることを、日本のみんなが支えようとするものです。この「支える」ということは、直接的に介助や世話をするだけでなく、それに必要なお金を国民が出しあっていることなども意味しています。

そのため、専門職である介護福祉士には、たくさんの知識や技術が必要となります。病気や障がいの種類や特徴はたくさんあり、生活スタイルは一人ひとり同じではありません。また、みなさんが介護の仕事をした時、そのお給料はどこからやってくるのでしょうか。こうした「こころとからだのしくみ」や「人間と社会の理解」での知識や技術を基に、「介護」実践できる人が、介護福祉士と言われる専門職の人たちです。

この本は、みなさんが介護の学校を卒業する年に、介護福祉士国家試験に合格するための方法や情報が集められています。学校での勉強は大変だと思いますが、合格したら、大きな自信がつかます。国家試験に合格することは、専門職である証明であり、介護の学校を卒業するみなさんに求められています。

在留資格「留学」から在留資格「介護」へ。

介護福祉士を目指すみなさんの「はじめの一步」を、心から応援しています。そのため、このハンドブックが役立つことを、心より願っております。

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会



学習ハンドブックの使い方

この「学習ハンドブック」は、「先輩からのメッセージ」、「介護福祉士国家試験合格体験記」、「先輩からの声」などのコラムがたくさんあります。コラムは、介護の学校を卒業して、現在、介護施設などで働いている、みなさんの先輩の経験です。

先輩たちも、みなさんと同じように、学校で勉強しながら、アルバイトもしていました。忙しい毎日でしたが、友だちと勉強を教え合い、励まし合いながら、家でも必ず勉強していました。結果、学校を卒業する年に、介護福祉士国家試験に合格した人たちです。

コラムには、みなさんが国家試験に合格するための学習方法が書いてあります。参考にしてみてください。

この「学習ハンドブック」の対象は、介護の学校で勉強している留学生全員です。

ですから、この「学習ハンドブック」は、学校にいる間、何回も読んでみてください。みなさんの勉強の役に立つでしょう。

学習ハンドブックの内容

章	内容
I. 日本で介護を学ぶにあたって (P8～P12)	★「日本の介護」をもっと理解しよう★ ・ 少しやる気が出ないと感じる時 ⇒GO! ・ 入学した日の気持ちを忘れてしまいそうとき ⇒GO!
II. 介護の学校の授業での学び方 (P13～P22)	★「授業で大切なこと」を確認しよう★ ・ 苦手な科目がある人へ ⇒GO!
III. 授業以外での学習方法について (P23～P27)	★「自己学習」の方法を身につけよう★ ・ 時間を上手に使って勉強の方法を知りたい人 ⇒GO!
IV. 日本語で介護を学ぶということ — 国試に向けた日本語の理解 — (P28～P33)	★「国家試験の日本語」これは絶対に理解しよう★ ・ 国家試験の問題がうまく読めないと感じている人 ⇒GO! ・ 日本語力をアップして、合格したい人 ⇒GO!

※N5・N4レベルの漢字と「知識、技術、生活、留学生、介護福祉士、利用者、専門職、専門員、必要、授業、重要、仕事、実習、介助、言葉、意味」には、ふりがながありません。

留学生のみなさんへ ～介護福祉士の先輩からのメッセージ～

ブー ティ クイン アンさん (ベトナム出身)

みなさん介護福祉士を目指す前に多分色々な不安や悩みがあると思います。私もたくさんありました。外国人として一番心配なことはコミュニケーションだと思います。

しかし、介護の学校に入ったらコミュニケーション技術の科目を学んだり、介護実習にて現場で職員さんのコミュニケーション方法や利用者との関わり方を勉強したりすることができます。

そして介護福祉士国家試験も大変と思いますが、留学生にとって、先生から特別な試験対策方法があるので心配せず頑張ってください。いつでも応援しています。



ティツ ティリさん (ミャンマー出身)

日本で頑張っている外国人のみなさんへ

みなさん、こんにちは☺ ティリと申します。私は 2018 年に日本に留学して 2020 年に介護福祉士の国家試験を合格しました。現在、佐賀県の介護老人保健施設の入所介護で介護福祉士として働いています。

私たち外国人にとって、日本での生活は、いい事ばかりではありません。しかし、何があっても自分がなんのためにここにいるかをちゃんと考え、失敗から学んで前向きに頑張ってください。



ヴ ティ ゴック ランさん (ベトナム出身)

介護とは、人と人を繋ぐ仕事だと思います。人との関わりが自分自身を成長させてくれますし、人の温かみを感じられる仕事だと思います。介護福祉士の国家試験はとても難しいですが、「合格を自指したい」と思うなら限られた時間の中で効率的に学習を進め、試験で手堅く得点できる実力を身につけてください。みなさんのことをいつも応援しています。頑張ってくださいね。



ハ トウ マイさん (ベトナム出身)

私はハトウマイと申します。茨城県にある介護施設で働いています。誰もが明るい夢を抱いて、日本へ旅立つと思います。私もそうでした。家族から遠く離れて、なんでも1人でできるようにならなければならないので、辛い時と寂しい時はもちろんあります。でも、努力して困難を乗り越えればみなさんの内力が絶対に強くなって、その夢を叶えることができると信じています。

みなさんの周りに優しい友達や先生たちがたくさんいるので、困っている時に助けを求めましょう。

私もいっぱい助けて頂きましたから、今に至ったわけです。みなさんの力になればなと思っています。頑張ってください。応援しています。



プレブドルジ デルゲルザヤーさん (モンゴル出身)

私は2020年に来日しました。私のような留学生にとって日本語で勉強することは決して簡単なことではなかったです。みなさんの気持ちもよくわかります。授業が難しく大変だと悩んでいた時に、先生に「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言われたことがあります。その一言で、わからないことがあったらすぐに誰かに聞いたり調べたりするようになりました。知らないことを一つひとつ潰していけば絶対受かると思います。みなさん、国家試験絶対合格しようね！



I. 日本で介護を学ぶにあたって

この章には、みなさんが日本で介護を学ぶとき、知っておきたい「大切な考え方」について書いてあります。

1. 日本の介護とは

(1) 自立支援の考え方

「利用者が、靴下をはこうとしています。しかし、手に力が入らないので、うまくできません。」

みなさんが、もし介護福祉士だったら、どうしますか。

もしかすると、利用者ができないことを、全部助けたいと思うかもしれません。そちらのほうが、時間は短くなるし、利用者もうれしいかもしれません。

でも、本当に、それが適切な介護でしょうか。少し手伝ったり、少しだけ長い時間があつたりすれば、自分でできることがたくさんあるかもしれません。何でも手伝わってしまうと、利用者の「できる力」をなくしている場合があります。

利用者一人ひとりをよく観察して、「できることは何か」・「難しいことは何か」を判断します。その上で、利用者のできることを活かして介護の方法を選択していきます。また、利用者が「したいことは何か」を自分で決められるように支援することが、とても大切です。これが、**「自立支援」の考え方**です。

(2) 介護過程の考え方

では、どんな勉強をしたら、利用者の「できることは何か」・「難しいことは何か」・「したいことは何か」がわかるのでしょうか。その答えは、科目「**介護過程**」にあります。

「介護過程」とは、利用者の話したことや行動について、「なぜ？」と思うことから始まります。たとえば、Aさんは、最近、食事を残すことが多くなっています。この課題の場合、すぐに食べてもらうための工夫をしまいがちです。しかし、食べられない原因や理由がわからなければ、正しい介護はできません。

食べられない原因や理由は、利用者一人ひとり同じではありません。ですから、利用者の体調や好きな食べ物、気持ちなどを考えます。そして、最も良い介護方法を考えて介護をします。思いつきや自分のしたい介護はしません。利用者のことをよく知って、必要な介護をします。

(3) チームケアの考え方

日本の介護とは、利用者一人ひとりをよく観察して、自分で決めてもらうことを大切にしています。また、課題に対して、その原因や理由を考えながら、チームで解決をくり返します。

課題を解決するためには、利用者の状況に合わせて、医師や看護師、リハビリテーションの専門職、栄養士、介護支援専門員や生活相談員などの専門職と一緒に行うことが必要です。利用者の生活は、こうした専門職との関係で支えることができます。これが「**チームケア**」の考え方です。

みなさんが目指している介護福祉士は、他の専門職の役割を理解しています。他の専門職と課題の解決に向けた話し合いができる知識や技術を持っていることが必要です。

(4) 介護福祉士の職業倫理

日本介護福祉士会は、「倫理綱領」を決めています。

日本介護福祉士会倫理綱領（抜粋）

1. 利用者本位、自立支援、
2. 専門的サービスの提供
3. プライバシーの保護
4. 総合的サービスの提供と積極的な連携、協力
5. 利用者ニーズの代弁
6. 地域福祉の推進
7. 後継者の育成

介護福祉士としての仕事については、みなさんは今、学校で詳しく学んでいます。

介護福祉士の仕事をするとき大切にすること、守らなくてはいけないことについては、「倫理綱領」に書かれています。

みなさんが介護福祉士として働くようになったら、自分の介護の方法が正しいかどうか、心配や不安が出てくると思います。その時は、「倫理綱領」をもう一度読んでください。

介護福祉士になっても、**学びは終わりません**。学校を卒業した時、みなさんは、介護に関する専門職となります。働きながら、よりよい介護について考えていくことが大切です。

2. 介護の学校で学ぶということ

(1) 介護の学校で学ぶ意義

日本で介護の仕事をしている人は、約200万人（2,000,000人）とされています。その人たち全員が、介護の専門的な知識や技術を勉強しているわけではありません。

介護福祉士になるために学校で勉強しているみなさんは、介護の専門的な知識や技術を持って、介護の仕事を始めます。そのためには、介護の学校を卒業するだけでなく、介護福祉士国家試験に合格することが必要です。

介護福祉士国家資格を持っているということは、介護の世界で、リーダーになることが期待されています。

(2) 介護の学校で学ぶ姿勢

① 授業の内容が分からない = 国家試験の問題も分からない？！

学校では、介護の専門的な知識や技術を学びます。授業や実習では、自分から学んでいきましょう。授業の内容は、国家試験の内容に関係しています。「授業の内容が分からない」をそのままにしておく、国家試験の勉強でも分からないことが多くなります。

分からないことは、授業の後、すぐ先生に質問してください。また、よく内容が分かっている他の学生に、教えてもらうのもよいでしょう。

授業を聞くときの方法や、宿題をするときの方法については、「Ⅱ. 介護の学校の授業での学び方」（P13～P22）をみてください。

② 休むことも大切

毎日の授業は、朝から夕方まで長い時間勉強しなければなりません。授業と授業の間の休憩や昼休みは、友達と授業の話をして復習したり、頭を休めたりして、次の授業も集中できるよう工夫してください。学校で、集中して勉強できるようにしましょう。

また、自分の好きなことをして、気持ちをよくする・リフレッシュする時間も必要です。自分がリフレッシュできる方法を見つけましょう。



③ 自分から学んでいけるようにしましょう

「分からないことは、分からないままにしない」ことは、とても大切です。

介護福祉士としての仕事が始まったら、自分の力で勉強する必要があります。学校には先生がいますが、仕事の場所にはいません。学生のうちに、自分で調べて考える力をもっておくと、仕事を始めて「大変だ！困ったなあ」ということは、少なくなります。分からないことがあったら、自分でインターネットを使って調べてみたり、専門の本を読んだりしてください。

また、分からないことがあったら、他の人に聞くこともよい方法です。



先輩の声：先生や他の学生とのコミュニケーション

日本語ができないと、理解することもむずかしい。

ですから、わたしは、留学生のみんなと勉強会をしました。いっしょに勉強して、分からないことが少なくなるように、がんばりました。

みんなが、それぞれ、自分で書いたノートを持ってきて、見て、話し合ったりすると、自分だけで考えていたら全然分からないことも、理解することができました。

1年生のときは、だいたい1週間のうち1~2回（金曜日の夕方や日曜日の夜など）

2年生のときは、毎日（月曜日から金曜日の毎朝、授業が始まる前に）

この経験が、国家試験の問題をしたり、授業が分かったりするときに一番、役に立ちました。

【2年制短期大学卒業（佐賀）、ミャンマー出身の先輩の声】



(3) 学業と生活

アルバイトをしている人も多いと思います。でも、アルバイトをしすぎて、勉強ができなくなるのは、よいことではありません。

試験の前や実習中は、アルバイト先と相談して、アルバイトの時間を少なくするなど、勉強に集中できる環境にしましょう。もし、アルバイト先で時間を少なくしてくれない、話を聞いてくれないことがあったら、すぐに先生に相談してください。



先輩の声：わたしの勉強スケジュール

2年生の秋・10月ぐらいからは、学校が終わって家へ帰ったら、食事と入浴時間じゃないときは、12時ごろに寝るまでずっと勉強していました。アルバイトの日は、20時までアルバイトをして、家へ帰りました。それから、2時間以上は、国家試験の過去問題を何回もやりました。

土曜日と日曜日は、朝から夜まで、ずっと勉強していました。

とても疲れている日や、どうしても勉強したくない日は、ご飯の後、すぐ寝ていました。買い物に行ったりしてリフレッシュもしました。やっぱり、勉強をずっとすることは大切ですが、無理しないで、リフレッシュすることも必要だと思います。

【2年制養成校卒業（福岡）、ベトナム出身の先輩の声】



Ⅱ. 介護の学校の授業での学び方

この章には、みなさんが介護の学校で勉強するとき、知っておきたい「大切な考え方」について書いてあります。

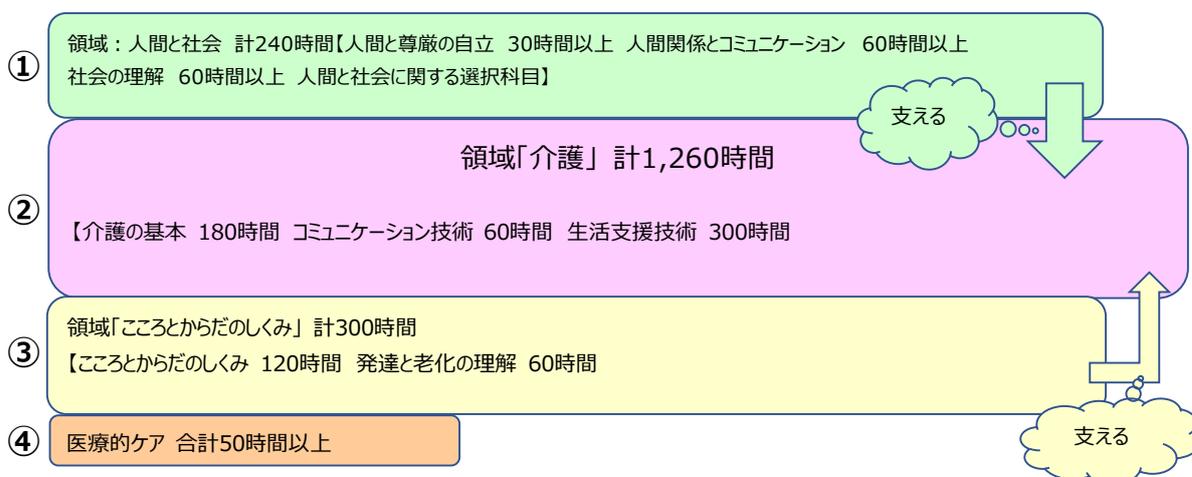
1. 入学から卒業までのカリキュラムを理解する

(1) カリキュラムについて

介護の学校には、「社会の理解」や「介護の基本」などの「科目」があります。「科目」は4つのグループになっていて、「4領域」と言います。「4領域」には、「① 人間と社会」、「② 介護」、「③ ことごとからだのしくみ」、「④ 医療的ケア」があり、介護福祉士になるために必要な全ての学習内容となります。

イメージすると、以下ようになります。

養成教育課程の図



出典：「介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けた研修」—科目3.

①～④の知識や技術は、1つ1つではなく、全部が関連しています。

なぜでしょうか。具体的にみていきましょう。

【事例】

認知症の症状が少しある B さんは、はじめて通所介護（デイサービス）を利用します。B さんの家族は「家のお風呂はあぶないから、デイサービスで入浴してほしい」と言っています。でも、B さんは、デイサービスのお風呂に入りたくないです。

この場合、②「介護」の科目「生活支援技術」の入浴介助の勉強は、すぐに役に立ちます。でも、「入浴したくない」と言っている B さんに入浴してもらうためには、それだけでは、うまくいきません。

「こころとからだのしくみ」の科目「認知症の理解」での知識や、①「人間と社会」の科目「人間関係とコミュニケーション」での知識も必要です。「認知症の理解」と「生活支援技術」が、「社会の理解」や「介護過程」などにつながっています。科目は、全部関連していることを意識して、勉強しましょう。

(2) 実習について

科目は全部関連しています。それは、実習も同じです。実習先で見たり経験したりしたことは、つぎの勉強につながっていきます。みなさんの場合、文化や習慣が違うことでびっくりすることもあると思います。でも、利用者と接することで気がつくことがあるでしょう。困ったときは、学校の先生や実習先の人に質問して、解決していきましょう。



先輩の声：実習やアルバイトすると、介護の理解が深くなる

実習では、利用者の病名や生活支援、ケアプランなど、学校の授業で勉強した内容を深く理解してから介助できました。こうした学校で勉強した理論と、実際に実習で実践することで、理解が深まりました。麻痺している方の介助方法など、国家試験問題での事例問題が解きやすくなりました。

【2年制養成校卒業（兵庫）、ベトナム出身の先輩の声】

2. 授業を受けるとき

(1) 授業を受けるときのポイント

★みなさんがそれぞれの科目の授業を受けるときは、次のことを意識しましょう★

- ・ 授業の前に授業概要(シラバス)を読んで、何を学ぶのか確認してから授業を受けましょう。
- ・ 授業概要(シラバス)は、いつも持っておきましょう。
- ・ 授業概要(シラバス)は、先生から言われた時、すぐ見ることができるようしましょう。
- ・ その日の授業で学ぶところは、そのページを授業の前に読んでおきましょう。
- ・ 授業の前に読んでいて、分からない・難しい言葉などにはチェックをしておきましょう。
- ・ 授業中、しっかり聞いて、確認しましょう。先生にも聞きましょう。
- ・ 授業中の科目が、どの領域なのかを意識して、授業を受けましょう。
- ・ 授業を受けて、意味がわかりにくい言葉や内容は、先生に必ず確認しましょう。
- ・ 先生に確認するときは聞くだけでなく、テキストに線を引いたり、ノートに書いたりするようにしましょう。

(2) 課題(宿題)について

★各科目の先生から出された課題(宿題)については、次のことを意識しましょう★

- ・ 課題の文章をしっかりと読んで、何を答えればよいか理解してから、始めましょう。
- ・ 答えを書き終えたら、文字の間違いや書き忘れがないか確認しましょう。
- ・ 答えの確認をするときは、声に出して読んでみるといいでしょう。
- ・ テキストを見て課題をした場合、テキストのページを解答用紙に書いておきましょう。もう一度勉強するときに、必要なページをすぐに開けることができます。そのとき、他の科目のことも書いてあるときは、科目名とページを書いておきましょう。
- ・ 課題をしたとき、読むことが①難しい②意味が理解できない③内容が難しい言葉があったら、マーカーを使って色を付けるなど、目立つようにしましょう。
- ・ 課題で、難しいこと・分からないことは、必ず先生に聞いてわかるようにしましょう。そのままにしておくと、今後の学習が進まなくなります。

3. 領域ごとの学び

ここからは、P13 で書いた 4 つの領域について、①科目の種類、②学びの目的、③学習のポイント、④国や文化の違いについて、の順番で紹介していきます。

(1) 領域「人間と社会」

① 科目の種類

「人間と尊厳の自立」、「人間関係とコミュニケーション」、「社会の理解」、
「人間と社会に関する選択科目（学校によって、科目の名前は違っています。）」

② 学びの目的

領域「人間と社会」の目的は、以下のとおりです。

<領域「人間と社会」：学びの目的>

- 福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を養う。
- 人間関係の形成やチームで働く力を養うための、コミュニケーションやチームマネジメントの基礎的な知識を身につける。
- 対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につける。
- 介護実践に必要な知識という観点から、社会保障の制度・施策についての基礎的な知識を身につける。
- 介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養う。



③ 学習のポイント

「人間の尊厳と自立」では、利用者の「自己決定」を尊重する介護福祉士の態度を学びましょう。

「人間関係とコミュニケーション」では、利用者の「思い」を理解するコミュニケーションについて学びましょう。

「社会の理解」では、たくさんの日本の福祉制度や福祉サービスを学びます。また、「なぜ」その制度は生まれましたか。「なぜ」必要ですか。少子高齢化などの日本の特徴を、みなさんの国と比べて、その「なぜ」を考えてみましょう。

④ 国や文化の違い

この領域に関する国や文化の違いについて、以下のことが考えられます。

領域「人間と社会」国や文化による違い

項目	内容
「尊厳」や日本国憲法「基本的な人権」に関する考え方	・ 介護福祉士となるみなさんは、利用者を大切に価値ある存在（＝尊厳の保持）として介護します。相手を大切にする態度は、文化や考え方で違います。どう違うかについて、先生やクラスメイトと話し合ってみましょう。また、介護現場で、利用者の「自己決定」を大切にする介護が何か、考えてみましょう。
人と人との距離感やコミュニケーション	・ 日本の介護現場では、介護されることを申し訳ないと思う利用者もいます。利用者の中には、自分の希望する介護を「遠慮する」人もいます。みなさんの国では、利用者は介護されることをどう感じていますか。先生やクラスメイトと話し合ってみましょう。日本人学生との会話、授業でのロールプレイや実習などで、利用者の「本音」（＝本当の気持ち）を理解する方法を学びましょう。

(2) 領域「介護」

① 科目の種類

「介護の基本」、「コミュニケーション技術」、「生活支援技術」、「介護過程」、「介護総合演習」、「介護実習」

② 学びの目的

領域「介護」での目的は、以下のとおりです。

<領域「介護」：学びの目的>

- ・ 介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。
- ・ 介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を習得する。
- ・ 本人、家族等との関係性の構築やチームケアを実践するための、コミュニケーションの基礎的な知識・技術を習得する。
- ・ 対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護過程を展開できる能力を養う。
- ・ 介護実践における安全を管理するための基礎的な知識・技術を習得する。
- ・ 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力、判断力及び思考力を養う。

③ 学習のポイント

介護の知識は、「人間と社会」、「こころとからだのしくみ」の領域で学ぶ内容もあります。介護の領域を勉強して復習をするときに、他の領域で同じ言葉や考え方が出ていないか確認すると、介護の領域が理解できるようになります。

介護の技術は、学校で勉強した介護と、実習や介護現場でのアルバイトで見たこと、聞いたことに違いがあるかもしれません。学校で勉強することは介護の基本です。学校の先生や実習指導者、アルバイトの指導者に「なぜ違うのですか？」と質問してみましょう。

領域「介護」学習のポイント

項目	内容
介護過程の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護するときに、その根拠（理由）は何かを意識して考えるようにします。 ・ 「人間と社会」「こことからだのしくみ」「介護」「医療的ケア」のすべての領域で学んだ知識や技術を活用します。 ・ 生活の中で困っていることがある利用者へ、どのような支援をするか考えながら勉強します。
理論と実践を紐づけた理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校で勉強したこと、実習や介護のアルバイトで知っている利用者の様子を見て、よいケアは何か考えてみるようにしましょう。 ・ P14の【事例】のように、利用者の問題を自分で考えてみてください。考えたことは、先生やクラスメイトと話し合ったりするとよいです。

④ 国や文化の違い

この領域に関する国や文化の違いについて、以下のことが考えられます。

領域「介護」文化による違い

項目	内容
整容（身だしなみ）や整理整頓 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセサリーや清潔について考え方が違うこともあります。大切にしていることは、先生や友だちと話しましょう。 ・ 温度や湿度、利用者の好みで、布団の種類が多いです。 ・ 靴を脱いだら、あとで履きやすいように、そろえておくマナーがあります。
健康や生活様式についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツの習慣や睡眠時間など健康についての考え方や、一日の塩分量や食事のマナーや方法などは、国や文化、人によっても違います。

(3) 領域「こころとからだのしくみ」

① 科目の種類

「こころとからだのしくみ」、「発達と老化の理解」、「認知症の理解」、「障害の理解」

② 学びの目的

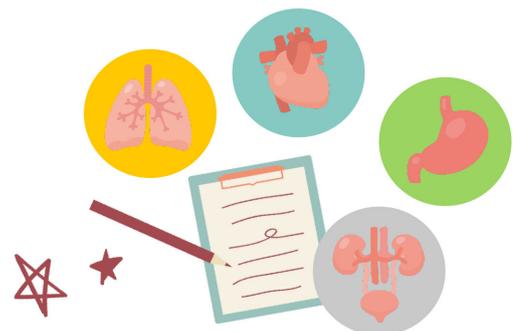
領域「こころとからだのしくみ」の目的は、以下のとおりです。

<領域「こころとからだのしくみ」：学びの目的>

- ・ 介護実践に必要な根拠となる、心身の構造や機能及び発達段階とその課題について理解し、対象者の生活を支援するという観点から、身体的・心理的・社会的側面を統合的に捉えるための知識を身につける。
- ・ 認知症や障害のある人の生活を支えるという観点から、医療職と連携し支援を行うための、心身の機能及び関連する障害や疾病の基礎的な知識を身につける。
- ・ 認知症や障害のある人の心身の機能が生活に及ぼす影響について理解し、本人と家族が地域で自立した生活を継続するために必要とされる心理・社会的な支援について基礎的な知識を身につける。

③ 学習のポイント

人間の体のつくりや、病気について理解することが最も重要です。まず母国語で体のつくりや病気について正しく理解しましょう。日本語ではどう書くか、どう発音するかを何度も勉強して憶えると、この領域を理解できるようになります。医学用語は漢字が難しいので、日本人もとても苦労します。体のつくりがどうなっているかの絵を描いたり、絵や図がある本を使って勉強することも、よい方法です。



④ 国や文化の^{ちが}違い

この^{りょういき}領域^{かん}に関する国や文化の^{ちが}違いについて、^い以下の^かことが考えられます。

^{りょういき}領域「^{ちが}こころとからだのしくみ」文化による^{ちが}違い

項目	内容
「 ^し 死ぬこと」について	<ul style="list-style-type: none">・ 人が^し死ぬことについての考え方・ 病気についての考え方・ ^{ちりょう}治療についての考え方 などは、国や文化、人によっても^{ちが}違います。

(4) 領域「医療的ケア」

① 科目の種類

「医療的ケア」

② 学びの目的

領域「医療的ケア」の目的は、以下のとおりです。

<領域「医療的ケア」：学びの目的>

- 医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるという観点から、医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を習得する。

③ 学習のポイント

領域「こころとからだのしくみ」と同じく、体のつくりの理解が重要です。生命に直接的に危険を及ぼす可能性のある「医行為」を介護福祉士が実施することを意識して学ぶ必要があります。滅菌と殺菌の違いを正確に理解したり、医学的な知識を正確に実技に生かしていく必要があります。また、医療的ケアが必要な人とは、どのような身体的状態であるかを考えていくことでも「医療的ケア」の知識と技術の大切さが理解できるでしょう。

④ 国や文化の違い

この領域での国や文化の違いについて、以下のことが考えられます。

領域「医療的ケア」文化によって違いがある例

項目	内容
病気や障がいがあっても「尊厳」を大切に生活	<ul style="list-style-type: none">医療技術の進歩や医師に診てもらえる機会や回数は、国によって違います。医療的ケアを受けながら、生活することに対する考え方は、国や文化によって違います。
清潔について	<ul style="list-style-type: none">気温や湿度など季節に応じて、清潔に生活するための工夫は、国や文化によって違います。

Ⅲ. 授業以外での学習方法について

この章には、みなさんが授業以外で勉強するときの方法について書いてあります。

1. テキストを活用した学習

みなさんが授業以外でテキストを使って学習するときは、次のことを意識してみましょう。

- ・ テキストを読むときは、声に出して読みましょう。
- ・ 大切なキーワードは、何度も書きましょう。
- ・ キーワードは、他の科目でも出てくることがあるので、意識しましょう。
- ・ 関係のある科目は一緒に学習しましょう。

(例：「生活支援技術」と「こころとからだのしくみ」は、いつも一緒に確認をする。)

(例：「社会の理解」を学んでいるとき、「介護の基本」のテキスト、〇〇ページと書いてあれば、そのページも開けて確認しましょう。)



先輩の声：教科書をたくさん読む

先生は、いつも次の授業の内容やページを知らせてくださいました。授業の予習は、そのページのところを15分くらい使って、読んでおきます。そのとき、知らない漢字があったら、意味も調べておきます。そして、授業を受けます。授業中に分からないところがあったら、先生に質問もしました。授業のあとや休み時間に、日本人のクラスメイトや先生に質問をして、もっと理解できるようにしました。さらに、そのあとも、教科書は何度も読みました。

【2年制養成校卒業（福岡）、ベトナム出身の先輩の声】



2. 参考書などを使った学習

みなさんが参考書を使って学習するときは、次のことを意識してみましょう。

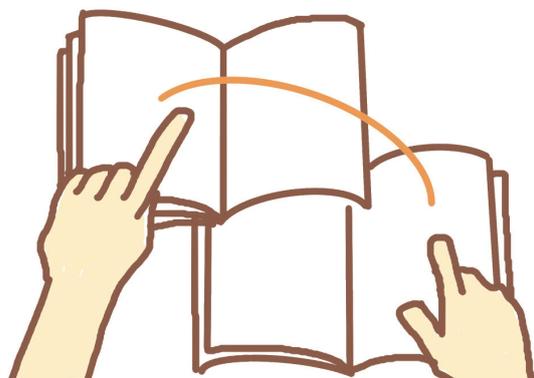
- ・ 参考書は、先生が勧めたものを活用しましょう。
- ・ 参考書の言葉の使い方がテキストや授業と違う場合があるので、注意しましょう。
- ・ 生活支援技術は、みなさんが学んだ技術と実際のやり方が違う場合があります。なぜそうするのだろうと疑問に感じたことは必ず先生に聞きましょう。
- ・ いろいろな参考書を使って勉強する方法もありますが、まずは、1冊の参考書だけを使って、しっかり勉強してみましょう。
- ・ 参考書で学習する場合は、授業のテキストや資料も一緒に見ながら学習しましょう。一緒にみることで内容がわかりやすくなったり、先生に聞きたいことがはっきりします。



先輩の声：参考書などを活用した勉強方法

教科書以外の参考書は、「介護福祉士国試ナビ」です。この本は、先生がすすめてくださいました。あまりたくさん本は使わないで、1冊だけを何回も何回も読んで、覚えることが重要だと思います。赤色になっている過去の問題は、全部覚えめました。

【2年制養成校卒業（福岡）、ベトナム出身の先輩の声】



3. 国試対策

国家試験対策では、「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」の4つの領域から出題される科目をしっかりと確認しましょう。確認が終わったら、4つの領域の科目それぞれで何を学ぶのか、理解しましょう。

国家試験は、**基本の問題が多く出題**されますので、しっかりと基本を理解しましょう。

たとえば

- ① 介護保険制度の第1号被保険者は、市町村に住所がある65歳以上の人です。
- ② 右半身麻痺のある人の衣服の着脱は、左側から脱いで右側から着る。(脱健着患)
- ③ 認知症の中核症状には、「記憶障害」「見当識障害」などがある。

国家試験では、科目ごとに短文事例問題や総合問題として、**事例問題が出題**されます。事例問題では、どのように解答するとよいのか考えてみましょう。

☞ 事例を読み、何が問われているかを確認しましょう。

☞ 事例の利用者を理解しましょう。

- ・ 年齢、性別、心身の状況(要支援状態・要介護状態・障害支援区分等)
- ・ 利用しているサービス、また、利用したいと考えているサービス
- ・ 疾病とそれによって出てくる症状
- ・ 誰とどこで生活をしているか。
- ・ これから先、誰とどこで生活をしたいと考えているか。

そして、国家試験対策で大切なことは、過去の国家試験問題で使われる言葉や表現に慣れることです。また、繰り返し使用されている言葉などを確認しましょう。そのために、受験する年の3年前からの国家試験問題(過去問)にチャレンジしましょう。

過去の国家試験問題にチャレンジするときに注意することがあります。

☞ 法律や制度は内容が改正されていることがある。

☞ みなさんが国家試験を受ける年度の内容を確認する。

4領域とそれぞれの科目を確認しましょう。

そして、各領域で学ぶことは何か、各科目で学ぶことは何かを確認しましょう。



介護福祉士国家試験に合格するまでの流れ

～2年制養成校卒業（兵庫）、ベトナム出身～

【1年生のとき】

- ・授業の内容がわかるように、必死に努力しました。
- ・毎日、学校でテストがあったので、その内容を少しずつ覚ええました。1年生のときに毎日したことは、2年生のとき、国家試験の勉強に役に立ちました。
- ・先生からいただく資料は、科目ごとに、それぞれファイルに入れて、整理しました。いつでも見られるようにして、国家試験の前に確認できるようにしていました。

【2年生のとき】

- ・4月から国家試験の問題を始めました。最初は、40～50点しかありませんでした。
- ・4月～1月まで、たくさん、模擬試験をしました。
- ・模擬試験の問題もファイルに入れて、整理しました。
- ・まちがった問題は、いつも見たり、ノートに書いたりして、復習していました。家でも、それを見て、書いて、読んで、覚ええました。
- ・模擬試験だけではなく、国家試験の過去問もたくさんしました。毎年、問題の内容は変わるので、関係する内容もいっしょに勉強するようにしました。
- ・たくさん問題の練習をしたら、問題をみることも慣れていきました。
- ・家で模擬試験の練習をするときは、時間のことを気にしないで、長い時間しました。
- ・国家試験の問題数125問を覚えるまで、くりかえし、くりかえし練習しました。
- ・わからない言葉があれば、自分で調べたり先生に聞いたりしました。
- ・この結果、合格することができました。

【使った教材】

- ・特に苦手な科目については「介護福祉士国試ナビ」を何度も何度も読み返しました。
- ・一番よく使ったのは、教科書です。先生からいただいた資料、過去の試験問題、模擬試験問題、上記「介護福祉士国試ナビ」だけです。



介護福祉士国家試験ごうかくに合格ながするまでの流れ

～2年制短期大学卒業（佐賀）、ミャンマー出身～

【1年生のとき】

- ・アルバイトをしていましたが、毎日、勉強していました。
- ・学校の課題かだいは、毎日、500～600字のレポートでしたから、日本語の勉強かならは必ずしなければなりませんでした。
- ・テストや課題かだい、グループワークが毎日あったので、わからないことは、いつも何がどうしてわからないかを整理せいりして、先生や友人に相談そうだんしながら、勉強つづを続けました。
- ・1年生の授業りかいが理解できていたことが、国家試験の勉強たいてんやくにも、大変役に立ちました。

【2年生のとき】

- ・2年生になってからも、毎日、学校の勉強を大切にしました。
- ・授業なんかいで何回も国家試験れんしゅうの練習をして、夏ぐらいに国家試験ごうかく合格の勉強を始めました。
- ・9月の模擬試験で自分の得意な科目と不得意な科目とくい かちく ぶとくい かちくがわかりましたので、点数が低い科目てんすうの勉強をがんばりました。過去問題のアプリなどを使って、毎日20～30問ぐらいを目標もくひょうにしました。読む力がよくなりました。
- ・先生からアドバイスをもらいながら、～10月まで：学校の勉強を中心に。11月～学校の勉強をしながら過去問もする。12月～試験問題に慣れるために集中して勉強しました。
- ・でも、11月の模擬試験もぎは60点代だったので、心配や不安の気持ちが大きくなりました。
- ・苦手な科目を勉強すると、少し疲れます。そのときは、好きな科目の勉強をして気持ちを変えました。「またやろう」という気持ちになりました。
- ・「社会の理解」は苦手なので、試験のすぐ前にまとめてやろうなど、計画を立てました。
- ・この結果、合格ごうかくすることができました。試験の時には、110分の試験問題を全部ぜんぶやって、10～15分時間が残るくらい問題を早く解くことができるようになっていました。これは、何回も過去問をして、たくさん本を読んだり、わからない専門用語ようごをいつも確認かくにんしたりしていたことが、力になったと思います。

【使った教材きょうざい】

- ・一番よく使ったのは、もちろん、教科書きょうかしょです。それから、先生からいただく資料しりょう、過去模擬試験問題、「クエスチョン・バンク」だけです。
- ・それ以外いがいに、スマホのアプリを使って、国家試験の問題をたくさんしました。学校の休み時間や家で、毎日、問題の練習れんしゅうをしました。

IV. 日本語で介護を学ぶということ -国試に向けた日本語の理解-

みなさんは、介護福祉士の国家試験の模擬試験や過去の試験問題をやったことがありますか。やさしかったですか。難しかったですか。IV章では、みなさんが受ける国家試験の日本語についての考え方を書きました。教科書や授業の中で勉強する言葉を理解するためにも役に立つと思いますので、読んでください。

1. 介護福祉士国家試験に必要な日本語力

(1) 介護福祉士国家試験は、日本語の試験ではない

介護福祉士国家試験は、日本語の試験ではありません。何が書いてあるかが、だいたいわかればよいのです。問題で正しい答えを選ぶために、一番必要なのは「介護の知識」です。授業や教科書で勉強したことが一番必要なことなのです。

(2) 国家試験の勉強に必要な日本語力は「漢字力」「語彙力」「読解力」

みなさんは、日本語を勉強したとき、漢字をたくさん勉強しましたね。漢字を使わない国の人たちには、漢字の勉強は大変だったと思います。介護福祉士の国家試験では、外国人は「ふりがな付き」の問題を選ぶことができます。でも、ひらがなが読めても意味がわからない言葉はたくさんあるでしょう。そんなとき、どうしたらよいでしょうか。漢字の意味から言葉の意味を考えることができます。漢字一つひとつには、意味があります。漢字の意味が言葉の意味になり、言葉の意味が文の意味になります。漢字は便利なものです。意味がわからない言葉があっても、漢字の意味から言葉の意味を、文の意味を考えることができます。

「漢字」の意味を知ることは、「語彙力」にもつながります。

(3) 国家試験に必要な「読解力」をつける

みなさんは、教科書を読むとき、問題をやるとき、わからない言葉があったらどうしますか。

辞書で言葉の意味を調べる人が多いと思います。もちろん、辞書で調べることは必要なことです。でも、調べる前に、「この言葉はどんな意味か」と考えてください。漢字の意味から言葉の意味を考えて、文の意味を理解してみましょう。文の意味がだいたいわかったら、辞書で調べて、言葉の意味を確認してください。国家試験の日本語が100%わかるのは、

難しいことです。試験を受けているときに、わからない言葉があっても、あわてないように、漢字の意味から考える練習をしておきましょう。

(4) 音読をしよう

教科書、国家試験の事例文などを声に出して読むと、自分が何を理解していないかがわかります。授業で先生が大切だといったことなど、覚えるまで音読してほしいです。文を覚えることで、介護の専門用語を覚えることができます。また、多くの言葉、多くの文を頭の中に入れることは、話す力、文を書く力にもなります。毎日、一文でもよいですから、これだけは覚えたいという文を何度も音読してみてください。

2. 国家試験の日本語の考え方

繰り返しますが、介護福祉士の国家試験は日本語の試験ではありません。そして、国家試験の日本語を100%理解することは難しいことです。何が書いてあるか、何を答えればよいか、だいたいわかればよいと思ひましょう。ここからは、国家試験によく出る日本語について、過去問題の中からみていきましょう。

(1) 漢字の意味から言葉の意味を考える

漢字の意味から言葉の意味を考える例

言葉	例
自己覚知 (第 32 回)	「自」と「知」の漢字から、「自分を知ること」と考えます
補足性 (第 32 回)	「補」と「足」の漢字から、「足りないものを補うこと」と考えます
経口摂取 (第 33、34 回)	「口」と「取」の漢字から、「口から取る (食べる) 」と考えます
後遺症 (第 34 回)	「後」と「症」の漢字から、「病気の後の症状」と考えます

※第 32～34 回国家試験問題に出ているものは、(第 32 回、第 33 回、第 34 回) としています



(2) 意味がわかりにくい言葉

意味がわかりにくい言葉の例

言葉	例
配慮 (第 32、33 回)	「慮」の意味を考えると、漢字の中の「思」に注目すれば、「慮」は「思う」と考えられ、だいたいの意味はわかります
不慮	「慮」は「思う」で、「不」は「ない」ですから、「不慮」は「思わない」と考えます。よく使われる「不慮の事故」は「思わない事故」「思っていなかった事故」と考えられます
閲覧	「覧」の意味を考えると、漢字の中の「見」に注目すれば、「覧」は「見る」と考えられ、だいたいの意味はとれます
画一化 (第 34 回)	「一」と「化」から、「一つになる。一つにする」と考えます
挿入 (第 32、33、34 回)	細かい意味はともかく、「入れる」という意味です
設置 (第 32、33、34 回)	細かい意味はともかく、「置く」という意味です
変容 (第 33 回)	「変」から「変わる」と考えます
継続 (第 33、34 回)	「続」から「続く」と考えます
傾眠傾向 (第 33 回)	「眠」から「眠る」「眠っている」と考えます
減少傾向 (第 34 回)	「少」から「少ない」と考えます
素早い・素早く (第 34 回)	「早」から「早い。早く」と考えます

※第 32～34 回国家試験問題に出ているものは、(第 32 回、第 33 回、第 34 回) としています

(3) 国家試験によく出る言葉

国家試験によく出てくる言葉は、理解しておく必要があります。

国家試験によく出る言葉の例

言葉	例
控える・ひかえる	～しないようにする、もうすぐある
促す・うながす	～するように言う
勧める・すすめる	～しましょう、～したほうがよいです、と言う
避ける・さける	～しないようにする

(4) 「する」と考えればわかりやすい言葉

「^{おこな}行^{いとな}う」「^{はか}宮^{ごう}む」「^{しよ}凶^{じっせん}る」「^{じっせい}講^{じっせい}じる」「^{しよ}処^{じっせい}する」「^{じっせい}実^{じっせい}践」「^{じっせい}実^{じっせい}行」「^{じっせい}実^{じっせい}施」「^{じっせい}施^{じっせい}行」などは、『する』と理解しておけばわかりやすいです。

(5) 長い漢字の言葉

法律^{ほうりつ}、制度^{せいど}、病気^{びやうき}の言葉には長い漢字の言葉が多くあります。漢字がたくさん並んでいるのでとても難しいと思うかもしれませんが、でも、考え方がわかれば、簡単に意味がわかります。

長い漢字の例

場合	例
2文字で区切るとわかりやすくなる場合	<p>単語は2文字のものが多いため、基本は2文字で区切ります。「介護予防日常生活支援総合事業」を例にすると、きれいに2文字ずつに区切れます</p> <p>「介護／予防／日常／生活／支援／総合／事業」</p> <p>区切ってから、一語一語の意味を考えれば、全体の意味がわかります</p> <p>➡「介護を・予防すること・いつもの・生活をすることを・支援する・まとめた・仕事」</p>
属性を表す漢字が入っている場合	<p>以下の漢字は、どのグループの言葉かを表す漢字のことが多いので、一文字で区切ります</p> <p>者—人</p> <p>所—場所</p> <p>病・症・疾患・炎—病気の名前</p> <p>剤—薬</p> <p>法—法律・方法</p> <p>費—かかるお金 などです</p> <p>(例1)</p> <p>第32回の問題 22. 32. 85. 103. と4回も登場した介護保険サービス</p> <p>「認知症対応型共同生活介護」を例にします</p> <p>「認知／症／対応／型／共同／生活／介護」</p> <p>この場合は「症—病気」「型—タイプ・種類」を表します。認知症は区切る必要がないのですが、練習として考えてください。区切ってから、一語一語の意味を考えれば、全体の意味がわかります</p> <p>➡「認知の・病気に合わせる・タイプで・いっしょに・生活する・介護」</p>

	<p>(例2)</p> <p>第34回の問題で「筋萎縮性側索硬化症」を例にします</p> <p>「筋/萎縮/性/側索/硬化/症」</p> <p>「病・症・疾患・炎」があると、病気の名前だと考えます。病気の名前には、体の部分がどうい状態になるかということを表わしているものが多いため、漢字からどんな病気を理解できます。区切ってから、一語一語の意味を考えれば、全体の意味がわかります</p> <p>➡ 「筋肉が・縮んでちいさくなった・状態で・脊髄の側面が・硬くなる・病気」</p> <p>同じように区切って考えると分かりやすくなる単語に、同じく第34回の「乾燥性皮膚疾患」、「感染性腸炎」、「変形性膝関節症」があります。</p>
<p>小さい、多いなどの形容詞が含まれている場合</p>	<p>小さい、大きい、などの形容詞も1文字で区切ります</p> <p>小、大、少、多 などです。</p> <p>介護保険サービスのひとつ「小規模多機能型居宅介護」を例にします</p> <p>「小/規模/多/機能/型/居宅/介護」</p> <p>似たような単語に「看護小規模多機能型居宅介護」がありますが、同じように文字を分けると、何をするサービスなのか、だいたいわかります</p>

(6) 文を理解する

事例文、選択肢の中には、わからない言葉がたくさんあると思います。わからない言葉が気になって、文全体の意味がわからなくなってしまうかもしれません。でも、一つの言葉の意味がわからないと、文全体の意味がわからなくなるのでしょうか。また、わからない言葉が一つあるだけで、問題に答えることができないのでしょうか。わからない言葉があったときは、その言葉を消してみてください。例をみてみましょう。

第32回国家試験の問題1は事例問題でしたが、言葉が難しく理解できなかった人が多かったそうです。難しい言葉を赤線で消してみました。

第34回の問題からも例を出しましたので、見てください。



ぶんしやう れい じっさい
文章の読み方の例 (実際の国家試験問題より)

問題	例
第 32 回 問題 1	<p>Aさん(78歳、女性、要介護3)は、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用している。72歳から人工透析を受けている。透析を始めた頃から死を意識するようになり、延命治療を選択する意志決定の計画書を作成していた。しかし、最近では、最期の時を自宅で静かに過ごしたいと思い、以前の計画のままでよいか気持ちに迷いが出てきたので、訪問介護(ホームヘルプサービス)のサービス提供責任者に相談した。</p> <p>サービス提供責任者の対応として、最も適切なものを一つ選びなさい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「この計画書は、医療職が作成するものですよ」 2. 「一度作成した計画書は、個人の意向で変更するのは難しいですよ」 3. 「意思確認のための話し合いは何度でもできますよ」 4. 「そんなに心配なら、特別養護老人ホームに入所できますよ」 5. 「この計画書は、在宅ではなく病院での治療を想定したものですよ」
第 33 回 問題 25	<p>介護施設におけるプライバシーの保護として、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ユニット型施設は個室化が推進されているため、各居室で食事をしてもらった。 2. 個々の利用者の生活歴の情報を、ルールに従って介護職員で共有した。 3. 個人情報記録のファイルを、開覧しやすいように机の上に置いたままにした。 4. 着衣失行があるため、トイレのドアを開けたままで、排泄の介護を行った。 5. 家庭内の出来事や会話の内容は、情報に含めないため記録しなかった。
第 34 回 問題 22	<p>介護保険サービスの担当者会議に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会議の招集は介護支援専門員の職務である。 2. 利用者の自宅で開催することが義務づけられている。 3. 月1回以上の頻度で開催することが義務づけられている。 4. サービス提供者の実践力の向上を目的とする。 5. 利用者の氏名は匿名化される。
第 34 回 問題 33	<p>利用者の家族から苦情があったときの上司への報告に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 苦情の内容について、時間をかけて口頭で報告した。 2. すぐに口頭で概要を報告してから、文書を作成して報告した。 3. 結論を伝えることを重視して、「いつもの苦情です。」とすぐに報告した。 4. 上司が忙しそうだったので、同僚に伝えた。 5. 自分の気持ちが落ち着いてから、翌日に報告した。

どうですか。わからない言葉を消してみると、だいたいの意味がわかったのではないでしょう

V.最後に

みなさんが学校を卒業して介護福祉士になったとき、介護福祉士の資格を持つ外国人介護人材としての役割が大いに期待されています。

日本の社会で働くとき、文化や習慣が違うことで、困ることも多いと思います。

でも、日本人が気がついていないことを外国人のみなさんが気がつくことも多いのではないのでしょうか。みなさんの外国人としての考え方を、日本の介護に活かしてほしいと思います。そして、一緒に働く介護福祉職や看護師、医師、相談員、リハビリ専門職など他の専門職の人たちと話しあい、よりよいケアを目指してほしいと思います。



まどぐち <窓口・問い合わせ先>

◇ 介護福祉士を目指す留学生のための相談窓口（日本介護福祉士養成施設協会）

—お困りごとがあれば、**無料で**、電話・メールにてなんでも相談できます

お電話でのご相談：0120-07-8505

メールでのご相談：kaigo-ryugaku-support@kaiyokyo.net

対応言語：日本語

◇ 外国人介護人材無料相談サポート（国際厚生事業団）

—お困りごとがあれば、**無料で**、電話にてなんでも相談できます

https://jicwels.or.jp/fcw/?page_id=85

お電話でのご相談：0120-118-370

WEBからのご相談：上のHPから入ってください

対応言語：日本語・英語・タガログ語・インドネシア語・ベトナム語・中国語・

タイ語・ネパール語・ミャンマー語・クメール語・モンゴル語

※言語によっては対応していない曜日があります



う みなさんが受けられる奨学金についての情報サイト

◇ 介護福祉士・社会福祉士を目指す方々へ

（修学資金貸付制度のご案内）（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/>

[hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/newpage_15126.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/newpage_15126.html)



さんこう <介護や日本語の勉強のために参考になるインターネットサイト>

◇ にほんごをまなぼう（日本介護福祉士会）

—**無料で**、N3レベルの日本語の勉強ができます。

また、介護の勉強のための複数の言語で

書かれた各種資料も、**無料で**ダウンロードできます。

使用するには、ユーザー登録が必要です。

<https://aft.kaigo-nihongo.jp/rpv/>



<介護福祉士国家試験について>

◇ 介護福祉士国家試験の概要がいよう(社会福祉振興しんこう・試験センター)

—制度せいどや過去かこ問題について、以下い げから確認かくにんできます。

<https://www.sssc.or.jp/kaigo/>



令和 4 年度 老人保健健康増進等事業
外国人介護人材の質の向上等に資する学習支援等調査研究事業

－ 検討委員会 委員名簿 － (敬称略、委員長を除き五十音順)

	お名前	ご所属・役職
委員長	井之上 芳雄	公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 副会長
委員	池澤 明日香	神戸医療福祉専門学校中央校 教員
委員	石川 由美	帝京平成大学健康医療スポーツ学部・医療スポーツ学科 准教授
委員	任 セア	東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科 助教
委員	岡本 匡弘	京都保育福祉専門学院 副学院長
委員	小山 晶子	医療介護福祉政策研究フォーラム アドバイザー
委員	黒田 英敏	旭川福祉専門学校 副校長
委員	橋本 由紀江	一般社団法人国際交流&日本語支援 Y 代表理事

オブザーバー：厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室

事務局：公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

厚生労働省 老人保健健康増進等事業

「外国人介護人材の質の向上等に資する学習支援等調査研究事業」

**介護福祉士国家資格取得に向けた
留学生のための学習ハンドブック**

令和 5 年 3 月発行

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-3-10 藤和シティコープ御茶ノ水 2 階

TEL : 03-3830-0471 FAX : 03-3830-0472